

# 特定非営利活動法人NPOサポートちがさき

## 令和6年度(2024年度) 事業報告書 (令和6年4月1日より令和7年3月31日まで)

### 1. 市民活動を支援する施設の管理運営事業

内 容 施設管理及び市民活動推進のための事業、多様な主体による協働の仲介を行った。  
日 時 令和6年4月1日より令和7年3月31日 通年  
場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他  
従事者人員 20名  
受益対象者 公益活動団体及び関心のある個人  
支 出 額 29,135,289円

### 2. コミュニティ形成を支援する事業

#### (1) まちスポ×さぼちが連携事業

今年度は実施しなかった。

#### (2) おでかけワゴン支援事業

内 容 茅ヶ崎南西部の交通不便地域において、湘南まちぢから協議会が実施している「おでかけワゴン」の運行をまちづくりスポット茅ヶ崎と連携して支援した。運航の増便、利用回数や料金の見直しなどが今後の課題となった。なお自主財源で活動する厳しさもあり認定ドライバー研修は実施しなかった。  
日 時 令和6年4月1日より令和7年3月31日 通年  
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、コミュニティセンター湘南、茅ヶ崎市南西部エリア他  
従事者人員 2名  
受益対象者 茅ヶ崎市南西部地区住民及び一般市民  
支 出 額 25,500円

#### (3) 余暇支援ネットワーク

内 容 茅ヶ崎・寒川地区の障害のある人々の余暇活動を地域で支援するネットワークメンバーとして人を繋ぎ、障がいのあるなしにかかわらず、みんな一緒に音楽やショーを楽しむ「キラキラちゃんぶる音楽祭」を実行委員会形式で開催した。  
日 時 令和6年10月5日(土) 通年  
場 所 まちづくりスポット茅ヶ崎、コミュニティセンター湘南、茅ヶ崎市南西部エリア他  
従事者人員 2名  
受益対象者 障がいのあるこどもたち及びその家族、茅ヶ崎市及び周辺地域の一般市民  
支 出 額 19,000円

### 3. 協働によるまちづくり推進事業

#### (1) 多様な主体とNPOのマッチング

今年度は実施しなかった

## (2) SDGsネットワーク事業

内 容 SDGs カフェと連動し、SDGs の推進をテーマにした講演とグループワークを実施し、行政、市民活動団体等、異分野で活動する人材の顔の見えるネットワークづくりを推進した。  
今回は参加者のコミュニティスクール、地域学校協働活動への理解を深め、学校・地域連携に関心のある市民、教員のつながりを拡大することができた。  
講演：竹原和泉さん(NPO 法人まちと学校の未来代表理事)  
都 浩一さん(県教育委員会湘南三浦教育事務所指導課長)  
テーマ：「学校・地域の協働で豊かな学び環境をつくる」

日 時 令和6年11月10日(日) 通年

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター他

従事者人員 1名

受益対象者 会員及びSDGsに関心のある市民、教員、行政職員等

支 出 額 811,872円

## 4. こどもの主体的な活動を支援する事業

内 容 「ちがさき・さむかわこどもファンド」では、こどもたちが主体的な活動を提案し、こども審査員が審査して5グループに助成。プロジェクトでは活動の見守り、伴走支援を行った。

日 時 令和6年4月1日より令和7年3月31日 通年

場 所 茅ヶ崎市民活動サポートセンター、茅ヶ崎市内、寒川町

従事者人員 7名

受益対象者 茅ヶ崎市、寒川町内のこどもたちとその支援者及び市民活動に関心のある市民、

支 出 額 850,811円

## 5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

今年度は実施しなかった。

## 1. 茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営とこれに付随する事業

### 総括

「市民が主役のまちづくりの拠点」として、利用者の良心、良識を信じ、潜在する市民力に期待しつつ、ひとりひとりが責任を持って自律的に活動できるよう適切かつ柔軟に管理運営を行った。利用者の声に常に耳を傾け、安心安全に利用できる環境づくりや業務改善、利便性の向上に努め、バリアフリーや環境配慮への取り組みを推進。利用者の困りごとに寄り添う親切丁寧な対応を心掛け、コロナ禍以降一部予約制も併用しながら、必要なときに誰でも予約なしで自由に使うことができる施設であることを改めて PR し、センターの利用促進を図った。

年間利用者は 19,129 名（「こどたん+2025」などイベント来場者含む、前年度比 104%）。ホームページ年間閲覧数は 71,054 件（WADAX 統計、1カ月間の訪問者総数計、前年度比 118%）だった。

インターネット、特に SNS の発展により、「個人」による公益活動が広がり、同じ興味や考え、意見を持つ人たちがつながりやすく、組織的に動くことも可能になってきている。一方で、意識をしないと分野や価値観、立場が異なる人たちとの接点や、当事者意識を共有したり社会の多様な視点に触れる機会を持つことが難しくなっている現状がある。サポセン主催事業では、積極的に「学び合いと交流」を意識した企画を実施。「ポジティブな熱気や共感・連帯感を感じられる」と、特にリアルな場での交流の価値・良さを実感してもらうことができた。

今後も引き続き、多様な市民同士が出会い、互いに情報や意見を交換、交流し、学び合い、つながり、新たな関係性を築ききっかけづくりの機会を提供していく。分断、格差、孤立等が引き起こす深刻な課題が顕在化する中、「誰一人取り残さない」社会を目指して、多様性を尊重しながら、市民と社会をつなぐ役割を果たしていくためにも、新たな市民活動が生み出される仕掛けづくりや、主体的かつ自律的に地域や社会の課題解決に取り組む人・活動団体へのきめ細やかな伴走支援に一層力を入れていく。

### （１）施設の運営に関する業務

#### ア ロッカーの使用の承認、取消し等に関する業務、利用料金の徴収、還付に関する業務

事務所を持たない市民活動団体に対して、機材などの備品や書類保管のためにロッカーを貸出した。

52 団体（大：17 団体、小：35 団体）、稼働率 80.3%

#### イ 作業コーナー・貸出用パソコン・貸出備品の管理運営に関する業務

- ・作業コーナーにおいては、利用者へ印刷機等の各種機器類に関する使い方サポート、利用料精算・領収書発行を行い、付随する業務として付属部品・消耗品の管理を適時行った。大量印刷の利用者は事前予約を受付けることにより、来館者の待ち時間や出直しが減少し、スムーズな印刷機運用ができています。また、機器類の調整やトラブル対応は、スタッフ間の情報共有や速やかに保守点検業者へ連絡する事で、利便性の維持向上に努めた。
- ・単色印刷機やカラー印刷機、紙折り機、丁合機は、近年ネット印刷も増えているが、操作の手軽さと、ほぼ実費負担分のみとなる料金設定のため、自治会やサークル活動など、ロコミによる利用が昨年以上に増加した。
- ・貸出 PC（SSD 搭載 4 台）は Office365 アプリ提供により、最新版が利用可能。定期的なメンテナンス・導入ソフトのアップデートを実施。年間の貸出数は 1,113 件で微減。施設のネット環境が整っているため PC やタブレット持込の利用者が増えている。パソコンを使い慣れていない利用者には初歩的な使い方サポートを行った。また、NPO 法人パソボラ湘南による IT 支援（館内で月 2 回実施）を紹介した。
- ・プロジェクター 2 台、スクリーン 1 台を追加購入。一部機能が使えなくなっていた放送設備は市と協議の上、更新された。大型モニタ 2 台は、打合せの情報共有他、オンライン会議や上映会の試写会にも使用されている。
- ・貸出備品の利用は年間 370 件、利用率は前年とほぼ同じ。予め予約を受け備品貸出時は使い方指導も行った。適切にメンテナンスも行った。市役所前広場利活用トライアル・サウンディング期間が延長されたこともあり、イベント実施のためのテント（有料）や長机・いす（無料）の備品貸出しが月 1～2 回程度コンスタントにあった。

## ウ ロッカー、レターケース利用団体宛のファックス及び郵便物の取り次ぎに関する業務

市民活動団体への郵便物・物資・情報等の仲介をした。

## エ 自主事業の実施業務

センター主催の SDGs カフェの連携事業として、次のとおり、第 3 回 SDGs ネットワーク事業を開催した。

開催日	概要	参加人数
11 月 10 日(日)	学校・地域の協働で豊かな学び環境をつくる ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を通じて～ プログラム: 講演、グループワーク(6 つのテーブルに分かれて情報交換)、 全体会(会場と登壇者の質疑応答、対話) 講師: 竹原 和泉さん(特定非営利活動法人まちと学校のみらい代表理事) 都 浩一さん(県教育委員会湘南三浦教育事務所指導課長)	33 名

## オ 職員体制に関する業務

- ・シフト制で勤務時間帯が異なり、対面での情報伝達・情報共有が難しいこともあるため、グループウェア「サイボウズ Office」「メールワイズ」、LINE、Zoom 等のオンラインツールの活用や事務所内での文書回覧など、様々な手段でスタッフ間の情報共有、コミュニケーションを図った。
- ・毎月のスタッフ会議では、Zoom を活用してできるだけ多くのスタッフが参加できる環境を整え、市との定期連絡会報告他、主催事業の進捗状況確認、施設の維持管理等について共有した。
- ・事業企画検討会議もほぼ毎月行い、指定管理事業の企画内容について方向づけをした。
- ・第 3 水曜日(休館日)のスタッフ勉強会では、施設の管理運営における基本方針や考え方を確認しながら様々なテーマで意見交換し、スタッフ全体の意識の向上、利用者対応のスキルアップを図った。また、現在の利用状況や市民ニーズ、登録団体の推移、社会情勢の変化をもとに、今後取り組むべき支援策について議論を深めた。
- ・8 月に救命救急講習会(AED の使用方法、心配蘇生法等)を受講、11 月に防災訓練を実施した。
- ・新人スタッフに対しては OJT を中心とした研修、その他すべてのスタッフに対し、主催事業(NPO 講座など)や外部研修への積極的な参加を推奨し、個々のスキルアップを図るとともに、研修報告をシェアし互いに学び合った。

開催日	概要(*はオンライン開催)	参加人数
10 月 30 日(水)	ボランティア活動支援施設新任スタッフ研修交流会@かながわ県民センター	1 名
11 月 4 日(月)	逗子文化プラザ市民交流センターへ視察	2 名
12 月 4 日(水)	ソーシャルコーディネートかながわ出張相談会に研修として同席	10 名
1 月 29 日(水)	企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティング in 藤沢「ワカモノと考える湘南の SDGs」@藤沢市役所	3 名
2 月 21 日(金)	かながわNPO伴走応援プログラム取組報告会@アットビジネスセンター横浜西口駅前	2 名
3 月 13 日(木)	第 2 回公開シンポジウム「災害時における自治会のICT活用:デジタルが支える地域防災と共助の未来」*	1 名

## カ その他施設の運営に関する業務

### ① 一部予約制による利便性の向上

- ・「予約なしで利用できる」施設であることを PR しながら、大人数での打合せや大量印刷での利用については、「施設予約受付表」を活用して引き続き事前予約も可能とし、利用者の利便性を図った。

### ② 希望する人が安心して社会参加できるような環境づくり

- ・特に、障がいのある方や小さな子どもを子育て中の方が安心して市民活動に参加、学びの機会を得られるように、館内のバリアフリー化に努め、講座・イベント開催にあたっては「手話通訳・要約筆記」「保育」付きの案内をした。今年度は4つの事業で手話通訳者、要約筆者の派遣依頼をした。

### ③ その他

- ・コーヒー1杯がお米1kgの支援になる取り組みをしている「サンチャイ・ネパールねばるば」のドリップコーヒーを館内で継続販売。「こどたん+2025」での販売含め、ネパール・パルパ郡へ69kgのお米を寄付できることとなった。
- ・企業や個人から提供された物品(事務用品、消耗品、カレンダーなど)を必要な団体・利用者に頒布した。

## (2) 市民活動の支援及び市民活動推進に関する業務

### ア 相談業務(利用者からの声、問合せ対応含む)

- ・来館や電話・メールにより受け付け、随時対応した。スタッフや法人理事が会議・イベント参加時、活動訪問時に外部でも相談を受け付け。相談者が自走できるようになるまで対面やメール等でやりとりしながら伴走支援に努めた。
- ・NPO 法人の提出書類、定款変更、認定取得、組織の立て直しや持続可能な運営など専門的アドバイスが必要な相談内容に関しては、代表理事による特別相談日を設けて対応した。
- ・市民活動団体からは、げんき基金や民間助成金の申請、活動内容や事業企画の進め方、広報、活動場所(イベント開催などサポセン利用の可否について)、組織運営(会則・規約の作り方、会員の高齢化に伴う活動内容や組織形態の見直し、法人化)、会員・ボランティア募集等の相談があった。
- ・サポセン主催事業や法人自主事業を通してご縁が出来た「茅ヶ崎支援学校」「鶴嶺高等学校」他、小中学校の先生方から授業や取り組みに関する相談、ソーシャルスクールワーカーから市民活動を知りたいという相談、コミュニティスクール関連相談、障がいのある子どもの課外活動相談など、子どもの教育分野に関する内容が増えた。
- ・現役社会人からは、収益事業化も視野に入れた活動立ち上げや法人化に関する相談が複数あった。シニア層からの趣味活動やボランティア活動に参加したいという相談・問合せ、高校生のボランティア体験希望に対しては、情報提供や研修・活動の機会を仲介した。
- ・その他、精神的な障害や将来への不安を抱える人、高齢の親や認知症に関する相談などは地域包括支援センター他福祉関連機関へ、動物保護に関しては保健所や市民活動団体への仲介を行った。また、個人的な困りごと相談についても、出来る範囲で傾聴や施設機器類の利用サポートを行った。

### <相談・利用者の声・問合せの内容>

内容区分	利用者の声	問合せ	相談	集計
ア.施設・備品の利用	14件	65件	4件	83件
イ.サポセン主催事業	8件	14件	1件	23件
ウ.市の施策(協働推進事業・げんき基金)	3件	1件	3件	7件
エ.ボランティア・市民活動	2件	34件	14件	50件
オ.団体の運営(法人設立・組織運営)	3件	3件	11件	17件
カ.団体の運営(活動資金・助成金)	0件	5件	4件	9件
キ.団体の運営(活動場所)	1件	2件	3件	6件
ク.団体の運営(ボランティア募集・人材確保)	0件	1件	4件	5件
ケ.団体の運営(広報)	5件	4件	1件	10件
コ.団体の運営(活動内容・事業企画)	4件	3件	10件	17件
サ.団体の運営(会計・税務・労務)	0件	0件	2件	2件
シ.団体の運営(その他)	2件	5件	6件	13件
ス.地域資源・情報のコーディネート	3件	13件	4件	20件
セ.行政・企業・大学・他団体等との連携・協働	4件	4件	5件	13件
ソ.その他	10件	43件	9件	61件
集計値	59件	196件	81件	337件

<所属内訳>

所属区分	利用者の声	問合せ	相 談	集 計
市民活動団体	23 件	46 件	25 件	132 件
特非・NPO	9 件	10 件	15 件	34 件
公益・非営利法人	3 件	1 件	3 件	7 件
行政	5 件	10 件	1 件	16 件
企業	0 件	3 件	2 件	5 件
学校	2 件	6 件	5 件	13 件
地縁団体(自治会など)	3 件	6 件	3 件	12 件
福祉関連機関	2 件	6 件	2 件	10 件
その他	2 件	9 件	3 件	14 件
個人	10 件	99 件	22 件	131 件
集計値	59 件	196 件	81 件	336 件

- ・かながわ県民活動サポートセンターによる「ボランティア活動支援施設の相談機能向上支援プログラム」を活用し、一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわの専門相談員による出張相談会を 12 月 4 日(水)に実施。7 団体からの相談に対応、スタッフ研修も兼ねて同席、記録作成など行った。

## イ「IT スキルアップミニ講座」の実施

団体等の広報活動に役立つ各種アプリの紹介から、基本的な学習と運用実践それぞれ 2 回連続で開催した。

開催日	概要	参加人数
8 月 29 日(木) 9 月 5 日(木)	<b>「Canva の使い方」 チラシや SNS をデザインして、活動をより魅力的に伝える</b> 内容:無料で使えるデザインツール Canva の利用法について、アカウント登録～無料提供スペックの紹介。実際にアプリに触れながら基本的な操作を学び、実際にデザインテンプレートをカスタマイズしてオリジナルのチラシを作成。その他に Canva で使える無料アプリの紹介、有料版のスペック解説や、NPO 法人向け Canva 登録で有料版を無料使用する方法を解説。 講師:村田 久美子さん(NPO 法人パソコンボランティア湘南)	10 名
11 月 15 日(金) 11 月 22 日(金)	<b>「使ってみよう！ LINE 公式アカウント」</b> 内容:若者からシニアまで幅広い年代で利用されている「LINE」を活用し、団体情報を発信したり、登録ユーザーとのチャット会話したりなど、公式アカウントならではの活用について学んだ。実際に管理運営するアカウント登録方法～「お友だち」(ユーザー)を増やすコツ、団体主催のイベント参加申込み等、各自持参したパソコンで運用管理について体験学習を行った。 講師:有賀 康江さん(NPO 法人 セカンドワーク協会)	10 名

## ウ「NPO 講座」の実施

団体の活動支援として対面による NPO 講座を計 4 回開催した。実践に役立つ知識を学ぶだけではなく、参加者同士が交流し、つながりをつくれるようなプログラム構成にした。

開催日	概要	参加人数
11月9日(土)	<b>I「どう考える？活動継続と事業の継承」</b> 内容:「若手の会員・ボランティアがなかなか集められない」「メンバーの高齢化」「団体を運営する役員のなり手がなく、活動を引き継ぐ人がいない」など、活動を続けることの難しさに対する悩みに対し、組織運営のコツや活動の理念・想いを次世代に承継するためのヒントについて解説 講師:田所 喬さん(NPO 法人 NPO・フュージョン長池 理事長)	19名
12月7日(土)	<b>II「活動を楽しく広げていくために・・・仲間づくりのコツ」</b> 内容:ボランティアや会員募集は、関心を持つ人に活動の魅力や参加に必要な情報発信が大切で、それと同時に、団体の活動に継続して参加してもらえるよう、さまざまな仕組みや仕掛けを考え、受け入れ体制を整えておく必要もある。その対策としてボランティアや新規会員を受け入れるための、基盤整備(環境づくり)の基礎について解説 講師:後藤 麻里子さん (NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事・事務局長)	15名
1月16日(木)	<b>III『「生活支援体制整備事業」の事例から学ぶ～協働・連携事業のつくり方」</b> 内容:地域課題の解決を目指して多様な関係主体同士がどのように事業化を検討して実現していくのか、大磯町の生活支援協議体「るーたー大磯」が企画したフリーペーパー発行事業を題材に、連携・協働のポイントについて解説 講師:細住 孝次さん(社会福祉法人大磯町社会福祉協議会 事務局長)	15名
2月22日(日)	<b>IV「第2回茅ヶ崎ミライトーク」</b> 内容:行政との協働推進に向けて、市長・副市長、教育長と市民活動団体が、5年後・10年後の輝く未来に向けてまちづくりへの思いを語り学び合う (1)市民自治推進課によるミニレクチャー 「市民活動団体と行政との協働～みんなで取り組むまちづくり」 (2)事前申込5団体による活動紹介・「市と連携したいこと」提案の5分間プレゼン、副市長・教育長からのコメント (3)第1回ミライトークのプレゼン団体 NPO 法人セカンドワーク協会による「市民参加型のデジタル化推進活動」の進捗報告 (4)全体会 参加団体の感想共有と一般参加者質疑応答 参加:市長、副市長1名、教育長、くらし安心部長、市民自治推進課職員 プレゼン市民活動団体5団体(C3大作戦、一般社団法人湘南サドベリースクール、一般社団法人遊びでまちづくりする準備室、ART ノ TANEMAKI、未来を考える市民の会)、NPO 法人セカンドワーク協会、一般参加者、サボセンスタッフ	52名

## エ「地域の居場所づくり交流会」の実施

地域の居場所づくりに関心のある市民、居場所づくりを支援する立場にある自治体職員・福祉関係者等を対象に、市内外の様々なタイプの居場所の事例を紹介しながら、居場所運営の現状とノウハウ(課題含む)を学ぶ機会を提供した。

開催日	概要	参加人数
3月23日(日)	<b>地域の居場所づくり交流会Ⅸ</b> <b>「子どもの居場所づくりを考える～学校内外の実践事例を通して～」</b> 内容:市内の実践者による事例報告、講師による講演、グループワーク、全体会(参加者と登壇者との対話) 講師:栗林 知絵子さん (認定 NPO 法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長) 事例報告:白井 容子さん(不登校・子どもの居場所ネットワークちがさき代表) 芦田 操さん(mini ひまわり代表) 古林 美香さん(放課後カフェ連絡会代表)	32名

## オ 「SDGs カフェ」の実施

多様な分野で活動するゲスト講師をお招きし、SDGs に関わる具体的な活動実践について学びながら、参加者同士の顔の見える関係を築ききっかけづくりの場を提供することを目的に開催した。市民活動団体、行政、企業、SDGs に関心のある個人など、グループワークを通して意見交換を行った。

開催日	概要	参加人数
10 月 27 日(日)	<b>第 10 回「地球環境とわたしたちの暮らし～グローバルな 3 つの視点から考える(環境倫理:地球の有限性/自然の価値/世代間倫理)」</b> ゲスト:鳥羽瀬 孝臣さん(東京理科大学非常勤講師)	14 名
1 月 11 日(土)	<b>第 11 回「地域で生きるあなたの力～ちょこっと健康おせっかい」</b> ゲスト:熊切つぐ美さん 白井 幸子さん (PuHU～わくわくする健康おせっかい～〔旧コミュニティナース茅ヶ崎〕 共同代表)	19 名
1 月 26 日(日)	<b>第 12 回「農がなければ食はなし～地域から考える都市農業の未来～」</b> ゲスト:石井 雅俊さん(NPO 法人ふるさとファーマーズ代表) 酒井 彩子さん(オーガニックちがさき代表) 吉野 正人さん(茅ヶ崎どっこいファーム園主 /オーガニックちがさき コアメンバー)	37 名

## カ 「こどたん+(プラス)」の実施

「茅ヶ崎を知る、みんなでつながる、新しいことにチャレンジする」をコンセプトに、主に幼児から小学生低学年を持つ若い世代への市民活動団体の PR、サポセンの認知度アップ、団体同士・来場者との異分野多世代交流、参加団体の企画力や広報力など新たなチャレンジによるスキルアップ他、市民活動全体の底上げを目指した。テーマは「ともにつくる」。イベントに関わるひとりひとりが「まつり盛り上げ隊」として共に創り盛り上げていこうという意識のもと遂行した。

天候にも恵まれ、多くの家族連れが来場。運営含め約 1,200 名が参加した。23 団体、25 の体験、ワークショップ、物販ブースでは、たくさんの笑顔と元気な姿を見ることができた。ともにつくった 23 団体の分野は、福祉、環境、動物愛護、まちづくり、子ども、文化、国際などに多岐にわたり、様々な体験を通して市民活動団体の魅力、ちがさきの魅力を遊びながら学び伝えることができた。イベントに参加した人たちが、茅ヶ崎をこれからも住み続けられる素敵なまちにするために、自分にも出来ることを考え、新たなチャレンジへのきっかけづくりの場を提供できたと感じられた。

楽しく参加できる団体ブースに加えて、サポセンとして 4 つの企画を提供した。

- ▶サポセン企画①「こどもまつり盛り上げ隊」:当日会場でお手伝いしてくれる方をチラシや館内掲示、HP、SNS などで告知募集。幼児から小学生の 11 名が参加。屋外受付で来場者へパンフレットや風船渡し、屋内窓口でワードラリーの景品交換所のお手伝いをしてもらった。参加した子どもたちからは「楽しかった」「またやりたい」と好評であった。
- ▶サポセン企画②「サステナブルアクション」:NPO 法人もったいないジャパンと共同企画。自宅に眠っている新品の文房具を回収し、次に必要する人や場所へ届けられる循環型社会を身近に学ぶ機会を提供できた。
- ▶サポセン企画③「さぼちゃんワードラリー」:いつでもでだれても楽しめ、会場内に隠れた「チャレンジ」の 5 文字を探し、完成したら景品と交換。景品提供は、参加団体や利用者の方から数多く寄せられた。
- ▶サポセン企画④「みんなでつくるさぼちゃんアート」:参加団体でもある「みんなでkitpas」が企画協力。いつでもでだれても楽しめる企画であり、窓に描いたさぼちゃんとドリーミーはサポセン学生スタッフがデザイン。来場者や参加団体、サポセンスタッフが魔法のチョーク「kitpas」で窓ガラス一面にカラフルで元気がもらえるアートを完成させた。

その他、館内ではサポセン機能を紹介したショート動画上映や施設利用案内パンフレット、ニューズレター、イベントチラシの配架により施設の PR を行った。

イベントを支える協力者として、茅ヶ崎高校ボランティア同好会の生徒が開催前のチラシ仕分け作業を行った他、市



内の中学生、大人ボランティアがイベントに向けた準備や当日の会場運営で力を発揮した。当日は、受付、窓口（ワードラリー景品交換）、臨時駐輪場、記録写真など多くのボランティアの協力があった。開催にあたり臨時駐輪場・駐車場としての場所の提供で、隣接する AGC セイメケミカル(株)など事業者による協力も得ることができた。

日時	内容	参加団体数/人数
10月19日(土)～ 11月30日(土)	募集要項・参加申込書の公開、配布 参加団体申込み受付	
10月19日(土)	キックオフ交流会	11 団体(14 名)
12月14日(土)	場所・時間調整会議	14 団体(15 名)
2月上旬 ～3月初旬	・公共施設・市内 19 小学校などへチラシ・ポスター配布、 ・広報ちがさき 3/1 号、地域紙、WEB メディア、SNS、ラジオ等で広報	
3月9日(日)	<b>【館内】</b> 竹とんぼ教室、魔法のチョークで風船にお絵描き、羊毛おえかき、万華鏡づくり、手話体験、点字体験、イースターバニー作り、UFO キャッチャー作り&重さはかり、レモン電池実験、KEEP LEFT プレート作り、視線入力装置体験、キラキラビーズ販売、食育キャラクターとのふれあい <b>【館外】</b> アマチュア無線体験、ミニ自然観察会、ネパール教育を知ろう、ソーラークッカーでネパール料理、ガールスカウト体験、木工遊び&スーパーボールすくい、ネパールの子どもの仕事体験、木工おもちゃ作り体験、保護犬の啓発 <b>【サポセン企画】</b> 「こどもまつり盛り上げ隊」「サスティナブルアクション(新品文房具の回収)」「さぼちゃんワードラリー」「みんなでつくる さぼちゃんアート」、PR ショート動画上映	23 団体参加、25 ブース出展、 参加者:約 1200 名

## キ 「ユースボランティア茅ヶ崎」の実施

今年で 20 回目を迎え、中学生から大学生くらいを対象に、ボランティアのきっかけ作りのプログラムを実施した。(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催で、多岐にわたる分野のボランティア体験活動により青少年が社会へ目を向ける機会を作ってきている。

受入先としては高齢者・障がい者・子育て・保育・環境保全・地域安全・国際支援・社会教育などにかかわる 23 団体の協力があり、青少年と社会的課題に取り組む市民活動や施設との出会いがあった。それぞれの受入先で出会う人と青少年との間に活発なコミュニケーションが生まれ、活動した青少年にとって地域や周りに関心を持つきっかけとなり、自分と社会とのつながりを実感したり、新しい価値観への気づきを促したるすることができた。また自主性や創造力を育む場としても一役をかつている。今年も「シェア de ボランティア」を開催することで活動を振り返る場を設定し、経験をして終わりではなく、経験で学んだことを自分のものとする支援を強化。参加者に少しずつ定着してきている。

開催日時	概要		参加人数
7月6日(土)10:00～12:00	第1回 オリエンテーション	場所:さがみ農協ビル 5 階	82 名
7月6日(土)14:00～16:00	第2回 オリエンテーション	場所:さがみ農協ビル 5 階	18 名
7月7日(日)、8日(月)	個別オリエンテーション	場所:ちがさきサポセン 社会福祉協議会	15 名
7月20日(土)～9月7日(土)	ボランティア体験期間		110 名
8月20日(火)14:00～16:00	シェア de ボランティア	場所:ちがさきサポセン	15 名

## ク 若者ボランティア支援に関する業務

若い世代のボランティア活動希望者に対し、ひとりひとりの思いを丁寧に引出し実際の活動へとつなげた。(延べ活動人数:計 89 名)また、若者が参加できるボランティア情報の提供を SNS で発信した。

### (ア) ボランティア活動相談、個別オリエンテーション、活動先コーディネート(延べ 3 名)

7 月:中学生 3 名(第一中学、鶴嶺中学、赤羽根中学)

### (イ) 高校の部活動月1回活動受入(延べ 58 名)

・茅ヶ崎高校ボランティア同好会 4/30:6 名、5/9:9 名、6/13:7 名、10/31:5 名、11/7:5 名、12/19:4 名、1/23:6 名、3/13:6 名

・茅ヶ崎高校ボランティア同好会 防災紙芝居見学(場所:松浪レイラニ保育園) 7/22:5 名

・茅ヶ崎西浜高校 JRC 部 4/22:5 名

### (ウ) ユースボランティア茅ヶ崎での活動受入(延べ 3 名)

7/25(茅ヶ崎高校)、8/3(社会人)、8/22(早稲田大学)

### (エ) サボセン主催事業でボランティア受入(延べ 18 名)

ユースボランティアオリエンテーション準備・受付・片付け

①7/6:7 名②7/6:11 名(茅ヶ崎西浜高校 JRC 部、鶴嶺高校 JRC 部、湘南アレセア中学高校ドルカス部)

### (オ) 個人のボランティア等の活動受入(延べ 1 名) 8/13(中学生)

### (カ) 事業所のボランティア活動受入(延べ6名)

10/5:中学生 6 名(放課後等デイサービス「のびの木 茅ヶ崎本村」)

## ケ 「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」の実施

1 年生約 400 名を対象に、市民活動団体とともに「探究学習の授業」支援を行った。課題を見つけ自主的に活動を行う人との出会いやふれあいの中で、高校生が社会課題を身近なものとして捉え、ボランティアや進路について「いつもとは違う」角度から考える貴重な機会となった。

今年のテーマは、生徒たちが「茅ヶ崎×SDGs」の観点で二学期の授業で学んできた「SDGs」。当日の第 2 部選択授業では日頃の学びを通して各団体への質問を事前に準備して臨んだ。

実施後は、生徒や参加団体のふりかえりの意見や感想を共有する場を設定した。互いの活動を知り、交流のきっかけづくりにつながる効果を感じることができた。

開催日	概要	参加人数
10 月 3 日(木)	「ボランティア塾 in 鶴嶺高校 2024」 第 1 部 全体学習 場所:鶴嶺高等学校 体育館 「楽しいが行動につながる」 私たちが感じた身近な課題と課題解決に向けた自分たちらしい働き方についてのお話 ゲスト: BENIRINGO(田中藍奈さん、阿部汐里さん) ・活動紹介と発信 (フリーペーパー/訪問授業/河ロクリーン/ラジオ DJ) ・きっかけと二人の出会い ・環境・社会問題への提議 (海洋ゴミ・プラスチック/相模川河ロクリーン/カンボジアのゴミ事情)  第 2 部 選択授業(市民活動団体 16 団体による体験授業) 場所:1 年教室・体育館など 16 教室 福祉、人権、こども、国際、災害、環境、まちづくり等の分野で活動する団体による講義・ワークショップ	約 400 名

11月23日(土) 24日(日)	<b>参加団体によるふりかえり交流会</b> 団体による活動紹介と参加の感想、グループに分かれフリーディスカッション テーマ:ワークショップを経験しての気づき・感想、参加団体間での今後の交流について	12団体 (22名)
---------------------	---	---------------

## コ 茅ヶ崎市市民活動推進基金「げんき基金」補助制度に関する業務

### (ア) 制度や実施事業の周知啓発支援

- ・ニューズレターへの関連記事(制度変更、採択事業)掲載、市広報紙「市民の活動だより」への団体紹介記事の掲載仲介を行った。
- ・緑のカーテンで収穫したゴーヤ等を窓口にて頒布し、代金全額をげんき基金へ寄付した。

### (イ) 市民活動団体等への支援

#### a 令和5年度実施 げんき基金補助事業 実施報告会 6/1(土)@茅ヶ崎市役所/Zoom

職員3名が傍聴した。

#### b 令和6年度事業の実施団体(スタート支援4団体、ステップアップ支援5団体)への支援

- ・市主催の「進め方説明会」(はじめてげんき基金申請をする5団体対象、4月実施)にて、広報、地域メディアの活用、事業の進め方ポイントについて個別にアドバイスをを行った。
- ・団体の実施事業等への参加、広報の協力他、随時必要な支援を行った。
- ・市主催「実績報告書確認会」(すべての団体対象)にて、報告書のまとめ方、効果的な書き方について個別にアドバイスをを行った。

#### c 令和7年事業申請希望団体への支援

##### ・「伝わる!企画書作成相談会」の実施

市民自治推進課と連携して、対面、メール等で事業や予算の組み立て方について個別アドバイスをを行った。

##### ・令和7年度実施 市民活動げんき基金補助事業 公開プレゼンテーション 3/16(日)@茅ヶ崎市役所/Zoom

職員9名が傍聴した。

## (3) 協働の推進に関する業務

### ア 市主催の(仮称)SDGs学習会への企画支援

市民自治推進課主催の事業企画案に関して、定期連絡会等で意見交換を行った。

### イ 関係機関との情報交換

- ・多様なセクター間の連携・協働の推進に向けて、企業、経済団体、市民活動団体、教育機関等と情報交換を実施した。

日時	機関・団体	内容
5月21日(火)	県立茅ヶ崎支援学校、 (株)アルバック	支援学校「地域の教育資源一覧」作成に向けたサポート
5月21日(火)	県立鶴嶺高校、 アレセイア湘南中学校・高等学校	ユースボランティアオリエンテーション開催時の鶴嶺高校 JRC、アレセイア ドルカス部生徒・教諭の参加協力依頼、今後の活動について
5月30日(木)	大和市市民活動課	昨今の市民活動支援センターの現状と課題について
7月29日(月)	茅ヶ崎市地域福祉課	鶴嶺西地区のサマースクール広報について
7月30日(火)	県立茅ヶ崎支援学校、 (一社)アステム湘南スポーツソサエティ	支援学校「地域の教育資源一覧」バスケット部の部活支援について仲介
8月29日(木)	茅ヶ崎市スクールソーシャルワーカー	不登校児童生徒など、特別な支援ニーズのある子どもの居場所情報の共有について

10月17日(木)	教育センター、不登校・子どもの居場所ネットワークちがさき	不登校児童生徒の対応をめぐる官民協力の可能性について
11月20日(水)	公益財団法人松下幸之助記念志財団	茅ヶ崎エメロード商店街の店舗利用による「大人の学校」開校に向けての相談
3月10日(月)	教育センター、学校教育指導課、不登校・子どもの居場所ネットワークちがさき	不登校児童生徒への対応をめぐる教育委員会と「不登校・子どもの居場所ネットワークちがさき」との情報交換
3月13日(木)	茅ヶ崎市教育委員会学校教育指導課	不登校問題・コミュニティースクール・地域学校協働活動・中学校部活支援について意見交換
3月28日(金)	市立松林中学校(学校長)	コミュニティースクール・部活支援・地域学校支援活動について状況報告と意見交換

・昨年度第1回茅ヶ崎ミライトーク後に、NPO 法人セカンドワーク協会と特定非営利活動法人パソコンボランティア湘南のメンバーが中心となって設立された「ちがさきデジタル活動推進連絡会」に月1回オブザーバー参加した。

## ウ 市職員への研修、研修受け入れ

新採用職員研修講座「行政とNPOとの協働、サポセン紹介」を実施した。

5/22(水) @サポセン(グループワーク含む 120 分):30 名

10/4(金)@サポセン(グループワーク含む 120 分):24 名

## (4) 情報収集及び発信等に関する業務

### ア WEB サイトに関する業務

#### (ア) ホームページの作成、管理運営、情報発信

- ・サポセン公式サイトの管理面では、(株)ボンドに HP およびサーバーの保守管理のほか、毎月1回のサイト運用面でのサポートおよび WEB コンサルタントを外注。スタッフでは対応が難しいコンテンツの構成・設計やレイアウト変更など、専門性を要する部分で協力してもらい連携を取りながらサイト運営を行った。
- ・スタッフが発信するWeb情報として、サポセン主催事業のお知らせ、市民活動に役立つ助成・補助金情報や、行政のお知らせ、その他各種講演会等を適時掲載。その他に施設利用(開館時間変更・臨時休館など)を TOP ページへ適時投稿して、利用者への情報提供を行った。
- ・本年度は、イベント情報 514 件、助成金・団体支援情報 161 件、サポセン事業の告知・報告件等 44 件を投稿。

#### (イ) SNS(facebook、X(旧 Twitter)、Instagram、YouTube 等)による情報収集・発信

- ・サポセン主催事業や登録団体が実施する事業・イベントなど、多様な主体とつながるキッカケづくりとなる情報収集・提供を、ターゲット世代が利活用するSNSごとに適時投稿を行った。
- ・Facebook「茅ヶ崎サポセン」では、主にサポセン主催事業、館内や花壇の様子、行政からのお知らせや登録団体主催イベント情報などを発信・シェアした。フォロワー数は 1,142。また Facebook グループ「ちがさき市民応援団」も、登録メンバー218 と微増ながら、団体それぞれが活発に情報発信しながら交流している。
- ・X(旧 Twitter)でも同様な情報発信を行い、フォロワー数は 450。
- ・Instagram では、画像・動画など目を引くデザイン作成を工夫して、多世代(特に若い世代)を意識した情報発信をしている。前年度に比べ投稿回数も増えており、フォロワー数 487 と前年の 1.5 倍に増えた。

### イ ニュースレター(サポートセンター情報紙)の発行

年 6 回(各号 1,400 部)発行。館内や市内公共施設への配架、ホームページに掲載の他、データベース登録市民活動団体・近隣自治体のボランティア支援施設・市内協力団体・個人・企業へ配布。

視覚的にも読みやすい紙面づくりを心がけ、来館者や事業参加者に配布し、サポセンの取組みを紹介する資料としても活用した。

巻	発行月	内容
vol.94	5 月	IT スキルアップミニ講座告知、サポセン活用術、2024 年度主催イベント・プログラムスケジュール、令和 6 年度実施市民活動げんき基金補助事業決定、団体紹介(さぼちゃんが行く/特定非営利活動法人 松の実会 地域活動支援センターみらまーる)、お知らせ(市民活動団体データベース新規登録募集、ユースボランティア茅ヶ崎 2024 募集、パソボラ湘南 IT 支援、広報ちがさき「市民の活動だより」)
vol.95	7 月	8 月～11 月主催イベント・こどたん+(プラス)2025 告知、特集(2024 年度市民活動団体アンケート集計結果)、事業報告(ユースボランティア茅ヶ崎 2024 経過)、団体紹介(さぼちゃんが行く/特定非営利活動法人ワーコレたんぼひろば)、お知らせ(IT スキルアップミニ講座 1、炎天下かけこみスポット、Web版市民活動団体ガイドブック 2024 年度版更新、パソボラ湘南 IT 支援、広報ちがさき「市民の活動だより」)
vol.96	9 月	10 月～3 月主催イベント告知、事業報告(ユースボランティア茅ヶ崎 2024、IT スキルアップミニ講座)、事業告知(こどたん+(プラス)2025、第 10 回 SDGs カフェ、NPO 講座 1・2、第 3 回 SDGs ネットワーク事業、NPO・市民活動・ボランティアあなたのまちで「相談会」)、市民活動の情報発信サポセン活用術、受入報告、団体紹介(さぼちゃんが行く/湘南のささきフルーツプロジェクト)、お知らせ(IT スキルアップミニ講座 2、令和 7 年度実施「市民活動げんき基金補助制度」募集開始、館内設置の AED、パソボラ湘南 IT 支援、広報ちがさき「市民の活動だより」)
vol.97	11 月	12 月～3 月主催イベント告知、事業報告(ボランティア塾 in 鶴嶺高校、第 10 回 SDGs カフェ、NPO 講座 1、IT スキルアップミニ講座)、事業告知(こどたん+(プラス)2025、市民活動パネル展、第 11 回・12 回 SDGs カフェ、NPO 講座 3・4)、紹介(図書コーナー、新貸出備品)、受入報告、団体紹介(さぼちゃんが行く/平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会)、お知らせ(令和 7 年度実施「市民活動げんき基金補助事業」募集、パソボラ湘南主催 IT 支援、広報ちがさき「市民の活動だより」)
vol.98	1 月	2 月・3 月主催イベント告知、事業報告(ボランティア塾 in 鶴嶺高校 参加団体ふりかえり交流会、NPO・市民活動・ボランティア あなたのまちで「相談会」、NPO 講座 2、第 11 回 SDGs カフェ、NPO 講座 3)、事業告知(こどたん+(プラス)2025、NPO 講座 4、居場所づくり交流会Ⅸ、市民活動パネル展)、団体紹介(さぼちゃんが行く/にじカフェ)、お知らせ(こどたん+開催に伴う開館時間変更、令和 7 年度実施市民活動げんき基金補助事業「公開プレゼンテーション」、パソボラ湘南主催 IT 支援、広報ちがさき「市民の活動だより」)
vol.99	3 月	サポセンホームページ PR、事業報告(第 12 回 SDGs カフェ、NPO 講座 4、こどたん+(プラス)2025)、お知らせ(市民活動団体データベース新規登録募集、貸出ロッカー利用者募集、花壇ボランティア募集、パソボラ湘南主催 IT 支援、広報ちがさき「市民の活動だより」)

## ウ 市民活動団体データベースの作成、管理に関する業務

- ・月次の施設利用統計にて、登録団体・新規登録団体・取消団体・ガイドブック(WEB)掲載団体の数値を報告。  
2024 年度の新規登録 17 団体、取消 13 団体、施設設備利用団体を含む登録総数は 359 団体になった。
- ・データベース登録 320 団体(ロッカー・レターケースのみ利用団体を除く)へ情報の更新案内を 5 月下旬に送付、団体から返信された回答をもとに更新作業を行った。
- ・レターケース利用のみの 43 団体には、別途メール・電話にて継続利用の意思確認を行った。
- ・更新期間中に登録取消を選択した団体に関しては、個別に取消理由のヒアリングを行った。その結果、構成メンバーの高齢化や退会による現象で、活動継続が難しくなったという団体が多くみうけられた。
- ・新規登録や変更・修正を随時受け、データをアップデート。最新の団体情報を提供できるよう努めた。

## エ 市民活動団体ガイドブックの編集、発行

市民活動団体データベース登録団体の情報をもとに、サポセン HP「市民活動団体ガイドブック」ページに掲載を希望する 315 団体の掲載情報を公開。また、公開されている団体情報を印刷して綴った、ファイリング版ガイドブックを作成して市役所 1 階情報コーナーおよび 4 階市民自治推進課、サポートセンター内に設置することで、WEB 版ガイドブックの閲覧ができない人でも、登録団体の情報を自由に閲覧できるようにした。

## オ 広報ちがさき「市民の活動だより」への掲載仲介

広報ちがさき 1 日号「市民の活動だより」へデータベース登録団体より通算 11 団体を掲載。  
(3 月はサポセン事業「こどたん+2025」を掲載)

## カ サポセン・市民活動 PR に関する業務

### (ア) 施設の周知に関する業務

- ・主催事業やお知らせについて館内掲示や WEB での広報を行った。
- ・サポセン利用案内(三つ折りパンフレット、印刷備品料金表は別刷り挟み込み)は、初めての来館者や主催事業実施時、外部団体の視察時などで配付した。

### (イ) 市民活動の PR に関する業務

- ・ニューズレター発行時に、主催事業案内等も含め、データベース登録団体他、公共施設、関連機関へ郵送、手渡し、Eメール等により情報提供した。
- ・地域情報紙や WEB イベントサイトへ市民活動団体やサポセンのイベント等について情報提供した。
- ・3/10(月)～3/19(水)、茅ヶ崎市役所 1 階市民ふれあいプラザにて「**市民活動パネル展**」を開催、27 団体が参加サポセンパネルと併せて 29 点を展示し PR した。日頃の活動やイベント告知、会員募集のメッセージ等、各団体趣向を凝らして見ごたえがあった。今年はテーブルに各団体のチラシを置くことができた。

## キ 図書・情報(掲示物)コーナーの設置と管理運営に関する業務

### (ア) 市民活動に関する図書の選定と購入、掲示、貸出、管理

- ・図書コーナー(本棚)脇に「新着図書紹介コーナー」を設け、年 2 回、オススメ本のポップを作成して利用者が手に取りやすいように工夫した。
- ・新規購入図書:『学校と社会をつなぐ!ーこれからの人づくり・学校づくり・地域づくり』(藤原文雄ほか著)など 18 冊、定期購入雑誌:『ガバナンス』(ぎょうせい)、『ウォロ』(大阪ボランティア協会)、『ビッグイシュー』(有限会社ビッグイシュー日本)

### (イ) 市民活動団体、関係機関が発行する掲示物の受付、掲示、管理

- ・データベース登録団体の会報やリーフレット、イベント開催チラシをメインに掲示。市民活動に関するイベントや運営に役立つ講座案内、各種ボランティア講座・募集情報、資金面での支援につながる助成金情報などを整理して見やすく掲示した。(登録団体のイベント開催チラシは、チラシ全面が見える平机に掲示)
- ・団体情報の収集・提供では、分野ごとの「市民活動団体メモリーファイル」に登録団体のメディア掲載や会報・チラシなどを整理保管し、団体の活動履歴などが把握できるよう努めた。掲示物が多い団体は個別ファイルを、少ない団体は分野ごとの纏めファイルで掲示している。
- ・広報ちがさきはじめ市主催のイベントやお知らせ、市民公募、パブリックコメント他刊行物、公共施設や他地区支援センターの広報紙やイベントチラシ等も、来館者が手に取りやすいようにコーナーを作り、掲示用ラックを活用して掲示・配架した。神奈川新聞やタウンニュース等の地域紙に掲載された、市民活動や市に関する記事は、曜日ごとにスクラップして来館者に見やすく掲示し、掲示後はファイリングしている。
- ・開催日程が間近なイベントなど、注目してほしい情報へのアクセスを、来館者視点で検討・工夫して情報の掲示を行った。

## ク 市民活動の状況調査に関する業務

### (ア) 市民活動団体へのアンケート調査

データベース登録されている市民活動団体を対象に、Google フォーム及び紙面で「市民活動の現状調査(アンケート)」を実施し、集計結果をニューズレターVol.95(7月発行)の特集で報告した。

調査対象:データベース登録団体(317 団体)、実施時期:2024 年 5 月 26 日～6 月 30 日、回答数:235 団体(法人 54、任意団体 181)(回答率 74%)

### (イ) 市民活動団体へのヒアリング調査

今後の市民活動支援施策を検討するために、比較的若い世代の活動団体へのヒアリングを行なった。

### (ウ) 「利用者懇談会」の実施

各事業において参加団体との懇談等を実施した。

## (5) 危機管理に関する業務

### ア 感染症対策

基本的な感染症対策については、新型コロナウイルス感染症に関わらず、市保健所が毎週更新する「茅ヶ崎市保健所管内における感染症の発生情報」を確認しながら、日頃の感染症予防対策の見直しを検討してきた。

2024 年度は、手洗い励行喚起以外には、館内の換気に注意を払い、講座実施など人が多く集まる機会には、機械換気を「強」運転するなどの対応を行った。

※「アルコール消毒液設置」は、利用者の希望が多く継続。

### イ 熱中症対策

近年の猛暑など気候の影響により、熱中症になる人は増加の傾向にある。サボセンでは、7/1 に茅ヶ崎市と「気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設に係る協定書」を締結し、共用スペースに休憩できる滞在所(椅子などを「炎天下かけこみスポット(クーリングシェルター／指定暑熱避難施設)」として確保・開放し、市の熱中症対策に協力した。また、サボセンが「クーリングシェルター」になることから、4 月末、熱中症で具合が悪い方に対する応急処置の簡易マニュアル・啓発資料「熱中症の疑いで、具合が悪い方に対する応急処置について」を作成しスタッフ内で共有した。

### ウ 防火管理、防災管理、建物管理

防火管理、防災管理、建物管理などについて以下の内容を実施した。

実施日	内容	備考
4 月 1 日(月)	消防計画別表4に基づく自主検査(1 回目)	
5 月 1 日(水)	消防計画別表5に基づく自主点検(1 回目)	
5 月 15 日(水)	空調機器保守点検(上期、淡島空調㈱)	
5 月 19 日(日)	緊急連絡網確認	
6 月 25 日(火)	自動ドア保守点検(上期、昭和ドア販売㈱)	
7 月 12 日(金)	消防用設備等保守点検(機器、平和防災㈱)	
8 月 21 日(水)	普通救命講習 I 受講(茅ヶ崎消防署本署)	参加 14 名
10 月 1 日(火)	消防計画別表4に基づく自主検査(2 回目)	
10 月 18 日(月)	第 1 回訓練実施計画書提出(市消防本部予防課)	
10 月 18 日(月)	第 2 回訓練実施計画書提出(同上)	
10 月 20 日～11 月 15 日	第 1 回消防総合訓練(オンライン)実施	参加 12 名

11月1日(金)	消防計画別表5に基づく自主点検(2回目)	
11月20日(水)	空調機器保守点検(下期、淡島空調㈱)	
11月20日(水)	第2回消防総合訓練実施	参加12名
11月28日(木)	第1回訓練実施結果報告書提出(予防課)	
11月28日(木)	第2回訓練実施結果報告書提出(同上)	
12月16日(月)	自動ドア保守点検(下期、昭和ドアー販売㈱)	
1月23日(木)	消防用設備等保守点検(機器・総合、平和防災㈱)	

## (6) 施設の維持管理に関する業務

### ア 建物設備

- ・保守管理業務においては、毎月の17項目にわたる月初点検の他、5月及び10月には建物維持管理点検を行い、市へ報告した。
- ・施設の安全性や利用者の快適性確保のため、男子トイレ小便器の不具合による部品交換工事、館内配線の錯綜解消・電子機器類増加に伴うコンセントの修繕工事(以上11月)、女子トイレ便器の詰まり修繕(3月)をそれぞれ専門業者に委託して行った他、劣化した防災用土のう袋の詰替え・積み直し(5月)、書棚やロッカーへ転倒・落下防止用器具の取付け(8月)などを行った。
- ・保守定期点検業務においては、例年どおり消防設備、空調設備、自動ドアについて専門業者に委託して、年間を通して保守点検を行った。なお、市の負担で、館内の照明3か所の不具合によるLED化工事(3月)を専門業者に委託して行った。
- ・清掃に関しては、例年どおり障がい者支援の事業所2か所への委託等により日常清掃及び定期清掃を行った。なお、日曜朝の清掃については、当日のスタッフが行っている。
- ・保守警備業務においては、例年どおり専門業者に委託してシステムによる警備を行った。
- ・産業廃棄物(蛍光管、がれき類、金属くず、廃プラスチック類及びガラス・陶磁器くず等)は、3月にまとめて専門業者に委託して適正に処理した。

### イ 植栽

- ・前年度に再整備された駐車場前の花壇や芝生・その他植栽、建物西側プランター、駐輪場前の箱庭など敷地内の緑化スペースを管理。また枝木長生による来館者への危険性に対処、適宜低木等の手入れや剪定を行った。
- ・夏季の緑のカーテン(ゴーヤ栽培)も継続して行った。
- ・花壇は、夏季・晩秋～冬季に花苗等の植え替えを実施。
- ・9月には放課後デイサービス「のびの木茅ヶ崎 本村」の中高生がボランティア体験で来館。一緒に1時間かけてパンジー・ビオラの花苗、フリージアの球根などを花壇やプランターに植え付けした。

## (7) 経営管理に関する業務

- ・事業計画書と収支予算書、事業報告書と収支決算書を作成し、市に報告した。
- ・月初めに館内の利用状況をグラフにして掲示した。
- ・月間利用統計表、月ごとの業務報告書、事業スケジュールの進捗状況一覧、利用者の声・問合せ・相談内容一覧を作成し、市民自治推進課に報告した。また、月1回定期連絡会を実施し、情報共有に努めた。



## (8) その他の業務

### ア 環境配慮

茅ヶ崎市環境基本計画の趣旨に基づき以下の取り組みを行った。

#### (ア)エコな取り組み推進

省エネルギーでは、「太陽光発電」「キャノピースイッチによる消灯」「待機電力の削減」「緑のカーテン(ゴーヤ 10 株)」「適切な館内温度の管理」「自動販売機不設置」を実施中。また省資源・廃棄物等の削減(3R リデュース・リソース・リサイクルの実践)では、「再生コピー用紙使用、古紙使用や廃棄物リサイクル」「使用済みインクカートリッジ回収」「主催事業時のゴミ発生抑制」また「産廃持込み処分」を実施中。

#### (イ) NPO 法人ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)所有設備に関すること(太陽光発電、蓄電池)

太陽光発電の発電・売電の集計や電気使用量の記録など、定期的に REN との連絡調整を行っている。今年度 REN に支払った自家消費分は 208,136 円(6,467kWh 分)。

※自家消費分とは、太陽光発電した電力量の内、サポセン施設内で使用した電力量。

### イ 視察対応、他機関との連携に関する業務

市内関連機関、他市ボランティア活動支援施設等とは、定期打合せや会議等への参加を通して密に情報交換を行い、市民活動支援に役立てている。また、積極的に研修受入を行い、市民活動の普及啓発に努めた。

開催日	概要(*はオンライン開催)	出席
4月26日(金)	平塚市市民活動推進委員会(令和6年度第1回)@ひらつか市民活動センター	1名
5月9日(木)	平塚市協働事業審査会 令和5年度実施事業報告会@平塚市役所	1名
5月29日(月)	令和4年度大和市市民活動推進補助金活動報告会@大和市文化創造拠点シリウス	1名
6月12日(木)	茅ヶ崎ボランティア連絡会・茅ヶ崎市社会福祉協議会主催 ボランティア大学 @農協ビル 「市民活動分野の紹介」(受講者55名)	1名
7月2日(火)	茅ヶ崎市健康づくり講座「茅ヶ崎市の市民活動、サポセン紹介」(受講者28名)	3名
7月4日(木)	平塚市協働事業審査会 令和7年度実施事業事前ヒアリング@平塚市役所	1名
7月12日(金)	平塚市市民活動推進委員会(令和6年度第2回)@ひらつか市民活動センター	1名
7月18日(木)	鎌倉市市民活動センター新旧センター長来館、情報交換	1名
7月18日(木)	新採用国家公務員(環境省、経済産業省、国土交通省、農林水産省)4名研修受入	3名
9月5日(木)	茅ヶ崎看護専門学校 地域・在宅看護論実習 生徒8名、教員1名受入	1名
9月6日(金)	NPO 法人アクションポート横浜他若者支援4団体来館、意見交換	5名
9月26日(木)	ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング@かながわ県民センター	2名
9月26日(木)	第4回チガエコトーク「エネルギーと文明」@茅ヶ崎商工会議所	2名
9月28日(土)	不登校でつながる交流会Ⅰ@茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアルーム	2名
10月3日(木)	平塚市協働事業審査会 令和7年度実施事業公開プレゼンテーション@平塚市役所	1名
11月8日(金)	平塚市市民活動推進委員会(令和6年度第3回)@ひらつか市民活動センター	1名
11月28日(木)	平塚市協働事業審査会 令和7年度実施事業説明会@平塚市役所	1名
2月14日(金)	公益財団法人かわさき市民活動センター(こども文化センター、わくわくプラザ、市民活動推進課職員含む)5名来館、情報交換	5名
3月1日(土)	令和7年度大和市市民活動推進補助金公開プレゼンテーション&評価@大和市役所	1名
3月2日(日)	不登校でつながる交流会Ⅱ@茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアルーム	2名
3月11日(火)	茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター令和6年度運営委員会	1名

## ウ 企業の社会貢献活動の仲介

### (ア) 明治のお菓子

2013 年度より毎年クリスマスの時期に、明治ホールディングス(株)及び同社株主より、社会貢献活動の一環として明治グループの製品(お菓子)の寄贈の申し出があり、障がいのある子どもを対象にした活動や東日本大震災の影響を受けている子どもたちの支援をしている団体への寄贈を仲介している。今年度は、こども支援の2団体(NPO 法人発達サポートネット バオバブの樹、湘南しゅわ市場)他5団体の子どもたちとも分かち合った。

### (イ) ふらっとパル茅ヶ崎からの提供物品

ふらっとパル茅ヶ崎は、生活協同組合パルシステム神奈川が NPO 法人セカンドリーグ神奈川に運営を委託している交流スペース。今年度は8月に防災備蓄品を提供いただき、市内のこども支援団体や民生委員に仲介した。

## エ 「わ・ちがさき」の活動受入

市民活動団体「わ・ちがさき」は、「特別な支援の必要なお子さんが、地域で働く体験をすることを通じて、皆が共に助け合うことのできる地域社会を創っていく活動」をしている。団体に協力して、中学2年生の生徒1名の活動を各日1時間程度受け入れた。8/24、3/1、3/15

茅ヶ崎市民活動サポートセンターの指定管理者として5期目となったセンターの管理運営の事業と合わせて、以下記載のとおり法人の様々な事業を展開した。

## 2. コミュニティ形成を支援する事業

### (1) まちスポ×さばちが連携事業

今年度は実施しなかった。

### (2) おでかけワゴン支援事業

2022 年より湘南地区まちちから協議会の自主運行となったおでかけワゴンは「地域で支える暮らしの足」として頼りにされ定着してきた。週2日(火・金)の定期運行は年間利用者数1,990人となったが、満員状態の解消、利用料金の見直しや運行協力金の減少が課題となった。

湘南地区まちちから協議会と、社会福祉法人翔の会、大和リース株式会社、茅ヶ崎市社会福祉協議会、認定NPO法人まちづくりスポット茅ヶ崎、茅ヶ崎市とのゆるやかな協力体制により実施した。

・役員会:年6回/運営会議:年7回

運行状況⇒予約制で運行:運行スタッフ(運転者12名、添乗者6名、運行管理3名)

定期運行:毎週火・金曜日(ベルパーク⇄BRANCH 茅ヶ崎2まで2往復・延べ372便)

毎週火曜日(松尾・柳島便・延べ70便)

マンション便:第2、第4土曜日(グランバーグ&エクシード⇄BRANCH 茅ヶ崎2直通・延べ38便)

地域イベント運行への協力年5回:萩園クラブの送迎延べ16便

### (3) 余暇支援ネットワーク

「かえってきた!第15回キラキラちゃんぷる音楽祭」

障がいのあるなしにかかわらず、みんな一緒に音楽やショーを楽しむ音楽祭を実行委員会形式で開催

日時:10月5日(土)13時~15時15分

場所:神奈川県立茅ヶ崎支援学校 体育館

参加人数:215名 参加費 無料

出演団体:3団体(茅ヶ崎高校チアリーダー部、JIRO-LOVERS、アフロ湘南&パザパアフリカン)

運営メンバー:38名(実行委員12名、協力者4名、支援学校職員12名、ボランティア10名)

\*支援学校徳永教諭の呼びかけで、認定NPO法人まちづくりスポット茅ヶ崎が事務局となり、3月~9月に毎月1回実行員会開催

## 3. 協働によるまちづくり推進事業

### (1) 多様な主体とNPOのマッチング

多様な主体とのNPOマッチング事業を計画していたが今年度は事業としては実施せずに会員対象の地域コミュニティ勉強会を開催した。

自治会会長の職務を務めた杉村会員をむかえ、その経験談をお聞きする勉強会

日時:10月7日(月)10時~12時

場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター

参加者:11名

テーマ①自治会活動について

②自治会活動の効率化に向けて(DX変革導入構想)

2023年度まで地元の自治会長としてご活躍いただいた貴重な体験談を伺った。

## (2)SDGsネットワーク事業

サポートセンター事業と連動し、SDGs の推進をテーマにした講演とグループワークを実施し、行政、市民活動団体等、異分野で活動する人材の顔の見えるネットワークづくりを推進した。

今回は参加者のコミュニティスクール、地域学校協働活動への理解を深め、学校・地域連携に関心のある市民、教員のつながりを拡大することができた。

・日 時 11 月 10 日(日) 講師:竹原和泉さん(NPO 法人まちと学校の未来代表)

都 浩一さん(県教育委員会湘南三浦教育事務所指導課長)

テーマ:「学校・地域の協働で豊かな学び環境をつくる」

参加者 33 名がグループに分かれて情報交換を行った。

※令和 4 年度から茅ヶ崎市民活動サポートセンターの協働コーディネーターの小山氏を中心に持続可能な地域社会の実現に向けて、地縁団体、行政、市民活動団体など、多様な機関・団体をつなぎ、セクターを超えた顔の見える人間関係づくりを目的にSDGsネットワーク事業を通年度実施してきている。

## 4. こどもの主体的な活動を支援する事業

茅ヶ崎市子どもまちづくり支援事業補助金を受け取ることができた。

4 月 茅ヶ崎市・茅ヶ崎市教育委員会、寒川町・寒川町 教育委員会の後援を得て、広報 開始

茅ヶ崎市立小中学校 ヘクラス掲示・配布、寒川 町立小中学校配布のお願い、  
こどもファンド 説明会 (2回)

5 月～活動及びこども審査員募集、事前学習会(3回)、顔合わせ、子ども支援団体連絡フォーラムにて活動紹介

7 月 7/7「公開審査会」では、6 グループのプレゼンをこども審査員が一次判定しチーフアドバイザーの進行で「公開協議」を行い 6 グループに助成が決定、助成額合計は 267,200 円

8 月 伴走支援を開始(活動に同行、茅ヶ崎 FM 出演、香川小ふれあい祭)

9 月 視察受入(横浜ユース) こども審査員ミーティング、茅ヶ崎 FM 出演

10 月 伴走支援(湘南信金 35 周年まつり) こどもファンド通信第 5 号発行

11 月 伴走支援(香川小訪問、第 2 回さむかわ天才万博)

12 月 こども審査員ミーティング

2 月 大和市民活動 20 周年フォーラムにて活動紹介

3 月 3/8「活動発表会」活動成果を発表・交流。ベストパフォーマンス賞の表彰

返納金合計 129,391 円、キッズだがし店より売上金 32,955 円の寄付を受領、かわさき市民活動センタースタッフとの交流会、茅ヶ崎 FM ラジオ特別番組に活動発表するこども達が生出演

## 5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

今年度は実施しなかった。

## 6. 行政・他機関への委員会委嘱・派遣等の協力【事務局】

派遣等

茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会(年 1 回)
茅ヶ崎市行政改革推進委員会(年 3 回)

社会福祉法人翔の会理事会（年４回）
社会福祉法人翔の会運営会議（年１回）
茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会（２回）
茅ヶ崎市生活支援体制整備事業 第１層協議体（年１回）
神奈川県指定特定非営利活動法人審査会（年７回）
茅ヶ崎中央ロータリークラブ 40 周年記念行事 ５月 18 日（土）
大和市民活動 20 周年フォーラム 2 月 16 日（日）

他セクター等との連携等

茅ヶ崎商工会議所 新春賀詞交歓会 １月 9 日（水）
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所 新年式典 １月 10 日（金）

後援・協賛等

今年度はなし。

## 7. その他

### (1)会員向け情報紙「ハーモニー」の発行

A3判、両面カラー印刷、年4回（8月、10月、12月、2月）の発行

46号：NPOサポートちがさき総会、2024年度新役員体制、エコー会員・賛助会員より

47号：ちがさきさむかわこどもファンド「公開審査会deチャレンジ」、わたしの大事にしているコト・好きなモノ

48号：地域コミュニティ勉強会、第3回SDGsネットワーク事業「学校・地域の協働で豊かな学び環境をつくる」

49号：ちがさきさむかわこどもファンド活動発表会、「サポセンのこれからを考える」にあたり、わたしの大事にしているコト・好きなモノ

### (2)情報発信・HP更新

1.NPOサポートちがさきHP(<https://sapochiga-mirai.com/>) の更新・編集

ちがさき・さむかわ こどもファンド専用ページを整備 (<https://sapochiga-mirai.com/childrens-fund/>)

法人の基本情報掲載、さぼちがイベント、ちがさき・さむかわこどもファンド情報随時掲載

2.サポセンニューズレター掲載

3.ハーモニー会員情報誌掲載

4.SNS (facebook、Instagram、YouTube等)による情報発信

## 法 人 運 営

### 1. 通常総会 2024 年度定期総会

日 時： 令和 6 年(2024 年) 5 月 15 日（水） 15:00～16:30

会 場： 茅ヶ崎市民活動サポートセンターおよび ZOOM によるオンライン会議

出席者数： 出席者 14 名 委任状 12 名、WEB 表決者 4 名 合計 30 名(正会員総数 39 名、過半数が出席)

議 事： 第 1 号議案 令和 5 年度(2023 年度)事業報告の承認

- 第2号議案 令和5年度(2023年度)収支決算の承認
- 第3号議案 令和6年度(2024年度)活動計画の基本方針及び事業計画の審議・決定
- 第4号議案 令和6年度(2024年度)収支予算の審議・決定
- 第5号議案 定款変更
- 第6号議案 役員の選任

全ての議案は原案通り、全会一致で可決承認された。

## 2. 理事会

- 第1回 4月10日(水) 定期総会の開催にむけて事業計画、予算書
- 第2回 5月7日(火) 2023年度決算及び2024年度事業計画、予算書について
- 第3回 5月15日(水) 代表理事、常務理事の互選
- 第4回 7月9日(火) さぼちが組織図と会議関係、NPO 行政機関の委員の推薦・派遣について  
ちがさき・さむかわこどもファンド公開審査会、助成金額
- 第5回 10月8日(火) 第1回ちがさき国際フェスティバル後援・協力・協賛について、最低賃金引上げに伴う時給引き上げについて、キラキラちゃんぷる音楽祭協賛について
- 臨時理事会 11月19日(火) サポートセンター下期指定管理料と人件費について、DX 地域協議会の意見交換について
- 第6回 1月14日(火) サポートセンターの将来についての情報交換
- 臨時理事会 2月25日(火) サポートセンター指定管理に向けての情報共有と検討
- 第7回 3月11日(火) サポートセンター指定管理に向けての情報共有と検討、2024年度決算と事業報告について

## 3. 運営会議

- 第1回 4月19日(金) 2024年度事業収支予算、地域における一般情報交換
- 第2回 6月6日(木) 運営会議規程の検討、さぼちが組織図、会議の運営について

以上